

令和5年度 事業報告

1 概要

令和5年度の墨田区シルバー人材センター（以下「センター」という。）の運営は、コロナの影響下から脱しつつある。

昨年度は多くが未実施に終わった10月の広報活動強調月間における各種活動も、本年度では実施することができ、センターの姿はコロナウイルス流行以前の姿に戻ろうとしている。

本年度の事業実績は、公共事業が昨年度比で2.1%の増、民間事業が0.6%の増、全体では1.4%の増、金額にして8,683,316円の実績増となり、実績数値は上向きの傾向を示している。

本年度の会員数は、入会者数は196名（昨年度185名）、退会者数は168名（昨年度199名）であり、年度末の会員数は1,503名となり、前年度と比べて28名の増となった。令和元年度以降、会員数は減少を続けていたが、本年度は増加に転じることができた。

センターを取り巻く状況は未だ楽観視することはできず、本年度10月から導入されたインボイス制度や、新たな契約方法であるフリーランス新法など、取り組んでいく課題は多い。

その中においてセンターは、その公益目的である就業を通じた高齢者の社会参加や、高齢者の能力を活かした地域社会づくりに貢献していく。

2 会員状況・事業実績等は後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1回
(2) 臨時理事会	1回
(3) 理事会	12回
(4) 安全管理委員会	5回
(5) 入会説明会	24回
(6) 総務部会	2回
(7) 事業部会	3回
(8) 広報部会	16回
(9) 合同部会	1回
(10) 家事援助サービス連絡会議	6回

4 事業の実施内容

(1) 普及啓発活動の推進

- ア 広報誌として「シルバーすみだ」を年4回発行した。
- イ 区のお知らせ、区勢概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。
- ウ 区内循環バスの車内広告及び放送を実施したほか、時刻表に広告を掲載し、事業の普及啓発に努めた。
- エ 10月を広報活動強調月間に設定し、次の事業を実施した。
 - (ア) 第48回すみだまつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。
 - (イ) 区内商店街や大型スーパー店等で啓発物資を配布した。
- オ リーフレットや啓発物資を作成し、配布した。
- カ インターネットのホームページにより、シルバー人材センターの紹介等を行った。
- キ すみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示し、センターのPRを行った。
- ク 高齢者活躍人材確保育成事業（国事業）を活用し、会員拡大チラシ約34,400部を、新聞折込により区内全域に配布した。

(2) 就業機会拡大のための事業、研究

- ア 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に参加して、技能の向上を図った。
- イ 民間事業の受注拡大のため、積極的にPR活動を行った。
- ウ 家事援助サービス連絡会議において、家事援助事業の受注拡大のための事例検討等を実施した。
- エ ホームページに求人募集記事を掲載するとともに、当センター事務局に就業情報を掲示し、会員への求人情報の提供に努めた。
- オ 発注者側の意見を聴取して就業内容に反映させることを目的として、発注者573団体（人）に対して、アンケート調査を実施し、発注者の不満・要望に対する個別対応を行った。
- カ 保育補助業務の新たな就業先の開拓のため、区内保育園の園長会議に参加して当センターの事業を説明し、保育園で活用してくれるよう求めた。
- キ 適切な就業の紹介のため、希望する仕事・時間等の会員情報の更新を実施した。

(3) 会員・役員研修

ア 第一ブロック（墨東五区）シルバー共催

- | | | |
|------------------|----|----|
| (ア) 正副会長会議（墨田区） | 1日 | 2人 |
| (イ) 安全管理研究会（墨田区） | 1日 | 1人 |

(ウ) 安全就業研修会（墨田区・江戸川区）	2日	20人
イ 墨田区シルバー主催		
(ア) パソコン・スマホ講座	65日	延708人
(イ) 接遇向上特別研修	2日	42人
ウ 東京しごと財団主催		
(ア) 役員研修（経営管理）	1日	2人
(イ) 新任会長研修	1日	1人
(ウ) 新任理事研修	1日	4人
エ 業務別懇談会		
押上駅前自転車駐車場業務会議	1日	24人

オ 職員研修

東京しごと財団主催の合同研修への参加等により、職員の資質向上を図った。

カ 基礎講習会

就業にあたり必要な注意点や心構えを説明するため、新入会員を対象にした基礎講習会を開催し、196人の会員が受講した。

(4) 相談業務

ア 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。

イ ハローワーク墨田において、入会や就業に関する相談等を行う出張相談を24回実施した。

(5) 安全対策

ア 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全管理委員会を開催し、安全就業の強化・推進を図るため、安全対策実施計画を策定した。

イ 本所・向島警察署と墨田区の協力を受け、5月と9月に自転車安全運転講習会を実施した。

ウ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。

その際、自転車修理を得意とするセンター会員2名により、自転車の安全点検を実施した。

エ 安全管理委員等による安全具の整備・点検及び実態把握のための、就業現場の安全パトロールを23ヶ所で行った。

オ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。

カ 安全講習会への参加及び第一地域共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及び再発防止対策等を検討した。

キ 熱中症対策のために、会員に瞬間冷却パック等を配布した。

ク 配分金明細書に、安全に関する啓発記事を同封した。

ケ 自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことを踏まえ、ヘルメット購入に

対する助成制度を拡充した。

コ 自転車保険の加入が義務付けられたことから、保険加入の確認を会員に対し実施した。

サ 会員に対し健康診断受診の有無を確認するとともに、未受診の会員に対しては受診を推奨した。

(6) 健康増進事業の推進

ア	カラオケ教室	12回	延 209人
イ	ウクレレ教室	24回	延 451人
ウ	健康体操教室	20回	延 530人
エ	すみだ花体操教室	20回	延 538人

(7) 社会奉仕活動

ア 東京都ランナー応援イベント2024 マラソン祭りにボランティアとして参加し、社会奉仕活動を実施した。

イ すみだボランティアまつりにおいて、折り紙体験教室を開催した。

(8) 労働者派遣事業

ア 事業拡大のため、労働者派遣事業に関するリーフレットを作成し、墨田区内の事業者
に配布する等のPR活動を行った。

イ 派遣就業に従事する会員に対し、入職時研修等を随時実施した。

(9) インボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応

令和5年10月1日からのインボイス制度導入に対応するため、発注者に対して必要な経費を請求し、また特定資産である消費税等納税資金積立資産に必要な額の取崩と積立を実施した。